



Mercedes-Benz

Press Information

2021年1月12日

全てを備えた本格 SUV

「メルセデス AMG GLB 35 4MATIC」を発表

- ・ 本格SUVのGLBにハイパフォーマンスモデルを追加
- ・ 公道での気持ちの良いドライビングに焦点を当てたモデル

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、本格 SUV の GLB に、公道での気持ちの良いドライビングに焦点を当てたハイパフォーマンスモデル「メルセデス AMG GLB 35 4MATIC(以下 GLB 35)」を発表し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より予約注文の受付を開始します。なお、お客様への納車は2021年1月末頃を予定しております。

GLBは、世界で持続的な成長を遂げるSUV市場において、すでに多くのラインアップを持つメルセデス・ベンツが、さらに多様なお客様のニーズに応えるべく投入する、全く新しいモデルとして2020年6月にデビューしました。究極のオフローダーであるGクラスからインスピレーションを受けた、スクエアなエクステリアデザインと高い悪路走破性を持つ本格的なSUVでありながら、広い室内空間に7人乗車を標準とし、かつ日本の都市部でも取り回しのよいボディサイズを実現した「全てを備えた本格 SUV」です。

GLB 35は、「メルセデスAMG 35シリーズ」6番目のモデルです。前輪駆動アーキテクチャーモデルに高出力なエンジン、十分なトラクションを確保する四輪駆動システム、高い剛性とアジリティのためのシャシーの補強やサスペンションのセッティングなど高次元のドライビングパフォーマンスを実現しつつ、快適性も損なうことがないように開発されています。クルマの挙動と対話しながら、気持ち良くドライビングすることに焦点を当てたモデルです。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*1} ()内は消費税抜き車両本体価格
メルセデス AMG GLB 35 4MATIC	右	2.0L、直列4気筒 直噴ターボ	¥7,370,000 (¥6,700,000)

*1: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、GLB 35には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

また、メルセデス・ケア期間中には、ご希望のモデルを3回無料でご利用いただける週末貸出サービス「シェアカー・プラス」もご利用頂くことが可能です。

メルセデス・ケア終了後も引き続き2年間、一般保証、定期メンテナンスや24時間ツーリングサポートをご利用いただける有償のサービスプログラム「メンテナンス&保証プラス*2」をご用意しています。

*2: メンテナンスサービスは総走行距離 75,000km までで終了となります。



メルセデスAMG GLB 35 4MATIC

メルセデスAMG GLB 35 4MATICの詳細説明

サスペンション

フロントにはマクファーソンストラット式サスペンションを採用しています。リアのマルチリンクサスペンションは、サブフレームを介してボディにリジッドマウントされています。各リアホイールには、横方向のアーム3本とトレーリングアーム1本、が採用されており、走行安定性とアジリティを最大限に高めています。

標準装備となる「AMG RIDE CONTROL サスペンション」は、サスペンションを制御する3つのモードをドライバーが選択することができます。快適志向からスポーツ性を強調したものまで、それぞれ異なるセッティングとなります。システムは走行状況や路面の状態に応じて各ホイールに対する減衰力を自動で調整しますが、この調整は連続可変式となっており、減衰特性を広い範囲にわたって変化させます。その結果、走行快適性とアジリティを等しく高めることが可能になります。

ブレーキシステム

強化ブレーキシステムは耐フェード性に優れるとともに、制動距離も短縮されています。フロントには新型モノブロック対向4ピストンキャリパーと350mmディスク、リアには1ピストンフローティングキャリパーと330mmディスクを搭載しています。ディスクはドリルドベンチレーテッドタイプとなっており、熱の発散を高めることで過酷な使用条件のもとでもフェード現象を予防します。なお、シルバーペイント仕上げブレーキキャリパーにはブラックのAMGロゴが入っています。

パワートレイン

GLB 35には最高出力306PS(225kW)、最大出力400N・mを発生する、2.0リッター直列4気筒ターボエンジン「M260」が搭載されます。低回転域での力強く、自然なレスポンスと、中高回転域での伸びやかな加速感を両立させるため、ツインスクロールターボチャージャーや可変バルブリフトシステム「CAMTRONIC」を採用しています。組み合わせられるAMGスピードシフトDCT 8速デュアルクラッチトランスミッションは、全速度域でのきわめて自然な加速性能に加え、素早いシフトとシフトアップ時の最適なギアのつながりが得られるようにセッティングされ、俊敏、かつダイナミックで気持ちの良い加減速を実現しています。AMGエグゾーストシステムには自動制御のフラップを装備しており、選択したドライブモードに応じて、バランスの取れた音色から、ドライバーの感性を刺激するモータースポーツ譲りのエグゾーストサウンドまで切り替えを行うことができます。

四輪駆動システム AMG 4MATIC

パフォーマンス志向のトルク可変配分四輪駆動AMG 4MATICは、最大限のトラクションと大きな走りの楽しさ同時に実現します。トルクの前後配分は、状況に応じて連続可変制御されます。このトルク配分比は、前後100:0から50:50までの範囲で変化します。

トルクの前後可変配分を行うのは、リアアクスルの伝達装置に内蔵された多板クラッチです。これは電気機械制御式であり、トルク配分比に対する影響要因としては、車速、横方向および前後方向加速度、舵角に加え、各ホイール間の回転速度差、選択されているギア、アクセルポジションなどが挙げられます。

電気機械式制御が電気油圧システムに対して持つ主なメリットとしては、トルク配分可変範囲全体にわたってクラッチのレスポンスが速く、しかも動作が速度に依存しないことなどから、よりシャープなドライビングダイナミクスが得られることが挙げられます。

ESP®が ON の場合は、4MATIC システムは「コンフォート」モードに固定されていますが、ボタンを押して「ESP® SPORT Handling」または「ESP® OFF」を選択すると、すぐに4MATIC が「スポーツ」モードに切り替わります。これによりアジリティが高まります。

5つのドライブモードと AMG DYNAMICS

GLB 35 には 5 つのドライブモードが用意されており、センターコンソールの AMG DYNAMIC SELECT で様々な状況に最適な制御を選択することができます。

各ドライブモードでは、エンジン、トランスミッション、サスペンション、エグゾースト、ステアリングの制御が変更可能な他、各モードに自動選択される「ベーシック」、「アドバンスト」の 2 つの「AMG DYNAMICS」のモードがあり、ESP®の制御を変化させます。

- ・コンフォート：快適かつ低燃費の走りに適したもので、シフトアップが早めに行われるほか、サスペンションとステアリングが快適性重視の設定となり、ECO スタートストップ機能が作動します。AMG DYNAMICS はベーシックが割り当てられ、安定したハンドリング特性となります。
- ・スポーツ、スポーツプラス：スポーティなエンジン/トランスミッション設定により、アジリティとファントムドライブを強調したモードで、エグゾーストもスポーティなサウンドを響かせるようになります。また、これらのモードでは ECO スタートストップ機能は作動しません。「スポーツプラス」はさらに、シフトダウン時のブリッピング機能により、エモーショナルな走りを演出します。AMG DYNAMICS はアドバンストが割り当てられ、ヨー抑制が緩和されるほか、ステアリングを切る角度が小さくて済むようになり、アジリティが強化されることで、ワインディングロードなどでのダイナミックなドライビングをサポートします。
- ・スリッパリー：滑りやすい路面を安全に走れるよう、パワーを落とし、トルクカーブをフラットに保つものです。具体的には、円滑なギアチェンジ、早めのシフトアップ、ECO スタートストップ機能により、安定性重視の走りをサポートします。AMG DYNAMICS はベーシックが割り当てられ、安定したハンドリング特性となります。
- ・インディビジュアル：個々の項目の設定を任意に選択して組み合わせ、保存できるモードです。これに加え、エンジンの設定を「Reduced」と「Moderate」にした場合、セーリング機能が有効となります。

デザイン

エクステリアデザインはメルセデス・ベンツモデルの AMG ラインをベースに、メルセデス AMG モデルならではの、高いパフォーマンスを感じさせる要素を取り入れています。フロントには、下側の幅が広く、縦にルーバーが入った AMG 専用ラジエターグリルを採用しました。このグリルはモータースポーツに由来し、クロームメッキを施した垂直フィンの基本デザインは、1952 年メキシコで開催された伝説の公道レース、カレラ・パナメリカーナ・メヒコで優勝したレーシングカー「メルセデス・ベンツ 300 SL」で初めて採用された由緒あるものです。フロントエプロンはジェットウイングデザインを採用しています。

リアは、専用デザインのクローム仕上げで円形のデュアルエグゾーストエンドにより、スポーティでハイパフォーマンスを体現するダイナミックなデザインが採用されています。

インテリアにも高いパフォーマンスを感じさせる要素を取り入れています。コックピットディスプレイは「スーパースポーツ」を含む3つのAMG専用の表示スタイルから選択可能で、走りの期待感を高めます。オプションの「AMGパフォーマンスパッケージ」³を選択することによりフラットボトム型となるナツパレザー/DINAMICAの「AMGパフォーマンスステアリング」が装着されます。グリップ部にDINAMICAを採用し、ブラックのステア

リングマークが施されたスポーティなデザインです。このステアリングホイールには、手を離さずに走行モードを変更することができる「AMGドライブコントロールスイッチ」が装備されます。右側のスポークの根元に位置するボタンはAMG DYNAMIC SELECTの走行モードなどを選択することができ、左側は事前の設定により、例えばサスペンション、マニュアルモード、ESP®などの調整を行うことができます。

*3: AMG アドバンスドパッケージの同時装着が必要

AMGトラックペース

GLB 35 には AMGトラックペースも装備*4されています。サーキット走行時に 80 件以上の車両データ(車速、加速度など)を常時記録することが可能です。これに加えて、ラップタイムと区間タイムの表示や、それぞれの基準タイムからの差を表示する機能も備えています。特定の項目は緑または赤で表示されるため、数字を読まなくても、最高タイムより速いか遅いかがひと目で分かります。

サーキットで何周か走り込んだ後は、そのデータをもとに運転スキルを分析し、必要に応じて改善に役立てることができます。さらに、加減速の値(0~100km/h、1/4 マイル、100~0km/h など)の測定と保存も可能です。また、車両の位置を可能なかぎり正確に判断する新開発アルゴリズムの搭載により、サーキットから離れた状況や、コースが短縮された場合も認識できます。これには、GPS データに加え、各種車載センサー(加速度、ジャイロスコープ、舵角、車輪速)を使用しています。各種データは、ワイドスクリーンディスプレイ、コックピットディスプレイ、ヘッドアップディスプレイ*5に表示することができます。

*4: ナビゲーションパッケージ装着時

*5: AMG アドバンスドパッケージ装着時